

学生の学びを促す学習評価の方法

■講師

山田 剛史（京都大学 高等教育研究開発推進センター／大学院教育学研究科 准教授）
神戸大学大学院総合人間科学研究科・博士後期課程修了。博士（学術）。島根大学教育開発センター講師・副センター長・准教授，愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長を経て，2015年4月より現職。「大学生の学びと成長を促す教育・学習環境のデザインと評価」をテーマとして，教育・研究・開発・教職員の能力開発に携わっている。

■プログラム概要

なぜ学習の評価をするのでしょうか。学習の評価には，最終的な成績を評価する以外にも様々な目的や役割があります。本プログラムでは，学習評価の基本的基礎的知識である，学習評価の原則（何を，どのように，いつ評価するのか），学習評価の方法（どのような方法や特徴があるのか），よい試験を行うための留意点，学習評価の厳密化と効率化のためのツール（ルーブリック評価やポートフォリオ評価，ICTを活用した評価やピア評価など）といった内容について学びます。

実際に，自身の授業実践を元に学習評価を振り返り，抱えている問題や解決のための知恵などを参加者同士で共有しながら，学生の主体的な学びを促進するための学習評価について深めていきたいと思います。

■主な受講対象

学習評価に関わっている教員。

■本プログラムの到達目標

1. 学習評価の原則を説明することができる。
2. 形成的評価と総括的評価の違いと重要性を説明することができる。
3. 多様な学習評価方法を知り，自分の授業で活用することができる。

■日時・場所

日時：平成29年8月24日（木）13：00～15：00

場所：徳島大学常三島キャンパス